

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2019/8/31
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 住友セメントシステム開発株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1988年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 30年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー 3F(〒105-0012)
	事業所数(国内、国外)		必須 国内:6か所、国外:1か所	
	主な事業所の所在地		必須 東京都(1か所)、大阪府(1か所)、愛知県(1か所)、北海道(1か所)、福岡県(1か所)、宮城県(1か所)、中国 大連市(1か所)	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 システム開発&ソリューションサービス、各種業務用パッケージの開発・販売、ビジネス向けクラウドサービス、スマートデバイス向けソリューションサービス、BPOサービス
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 大塚 千明
			代表者写真	選択 写真添付
			代表者年齢	選択 61歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択
7	役員	役員数	選択 9名	
		役員氏名及び役職名	選択 大塚 千明(代表取締役社長)、加藤 昌宏(常務取締役)、中村 毅(常務取締役)、牛丸 明(取締役)、辻田 享二(取締役)、瀧田 嘉彦(取締役)、末盛 徳之(取締役:非常勤)、川崎 晋司(監査役:非常勤)、起塚 岳哉(監査役:非常勤)	
8	従業員	従業員数	選択 正社員数(単独ベース) 130名	
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥2,755,071,000(済報告期間"2018年4月1日~2019年3月31日")
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 ¥344,514,000(済報告期間"2018年4月1日~2019年3月31日")
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥100,000,000
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 81.080%(済報告期間"2018年4月1日~2019年3月31日")
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 0%(済報告期間"2018年4月1日~2019年3月31日")
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 支払い利息なし(済報告期間"2018年4月1日~2019年3月31日")
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	④
17		決算公告	選択	有
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	住友大阪セメント株式会社(70%)、日本電気株式会社(30%)
19	取引関係	大口取引先	選択	
20		主要取引金融機関	選択	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行
21		所属団体	選択	公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会(JFMA) BIMライブラリーコンソーシアム
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	大塚 千明(取締役社長)
23		専担の部署・会議体	選択	有:コンプライアンス委員会
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	情報漏洩を未然に防ぐ従業員の行動指針 個人データ及び個人情報管理規程 プライバシーポリシー ISMS管理規程 ISMSマニュアル
				上記の文書類の経営陣による承認の有無
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	無
				上記の文書類の経営陣による承認の有無
- サービス基本特性				
27		サービス名称	必須	FM for Dynamics
28		サービス開始時期	必須	2009年6月1日
				有 2010年4月1日 2012年4月1日 2016年8月1日
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	サービスの内容・範囲	必須	<p>施設のさまざまな情報を台帳として管理し、施設の利用者、オーナーの満足度向上のために、メンテナンス情報を蓄積し、共有・分析等に活用するためのクラウドサービスです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●BM(ビルマネジメント)サービス                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・法定点検をはじめとした定期点検の計画から実施及び、突発的に発生する点検の作業履歴を蓄積します。</li> <li>・対象設備の台帳がある場合は、設備機器と作業履歴が紐付けられ、設備機器単体での履歴管理としても活用できます。</li> <li>・現場支援のタブレット機能により、紙で管理されていた点検作業情報も、クラウド上で一元管理できます。</li> <li>・修繕周期と修繕実績を、設備機器の保全計画シミュレーション機能により、投資平準化の判断材料として活用できます。</li> </ul> </li> <li>●EM(エネルギーマネジメント)サービス                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力あるいは取り込まれた検針データから改正省エネ法に基づいた報告書を自動作成します。</li> <li>・エネルギーデータを扱う、温対法および東京都の環境確保条例をはじめとして、神奈川県、埼玉県の条例にも対応しています。</li> </ul> </li> <li>●ドキュメント管理サービス                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・図面及び関連書類を管理します。</li> <li>・管理項目は、任意に設定可能です。</li> </ul> </li> </ul>
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>	無	
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	管理項目の一覧表示形式など、顧客がカスタマイズすることが可能 出力帳票をカスタマイズすることが可能 基本的に個別相談にて応じてカスタマイズ範囲を決めます。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	3ヶ月前
		告知方法		電子メール等
33	サービスの變更・終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	有: CSV またはExcel ファイルで提供
		基本方針に沿った具体的なユーザーへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無
		契約終了時の情報資産(ユーザーデータ等)の返却責任の有無		無 返却を希望される場合は、有償で対応
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有 システムFMソリューションサポートセンター 弊社営業日9:00~12:00 13:00~17:00 土・日・祝日・年末年始・夏期休暇を除く
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	契約建物数が1~99建物の場合は、1建物あたりの月額利用額を契約建物数で乗じた金額を課金(但し、契約建物数により、1建物あたりの月額利用額は変動)
		固定部分の課金方法		契約建物数が100建物以上の場合は、月額月額利用額を課金(但し、契約建物数により、月額月額利用額は変動)
36	サービス料金	初期費用額	必須	初期導入費用:35万円~
		月額利用額		価格表による(契約サービス、建物数、ユーザー数により変動)
		最低利用契約期間		6ヶ月
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザー側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	無
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	対象期間: 2018/4/1~2019/3/31 100%(実績値)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2: 稼働率の対策参照値99%以上
		サービス停止の事故歴		対象期間: 2018/4/1~2019/3/31 2018/4/1~2019/3/31で0件
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	監視ツールにて、各サーバの動作状況を監視し、問題が発生した場合、担当者にメール連絡を行う。 弊社開発の監視ツールにて接続状況をリアルタイムで確認し、接続不可になった場合イベントログにエラーを出力することにより、監視ツールから、担当者にメール連絡を行う仕組みを構築している。
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		パフォーマンスカウンターにて閾値を超えた場合にサーバ管理者にメール送信 月1回提供している主な機能の速度計測を実施
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	無し
42	サービス品質 認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	ISO27001取得(認証番号:IS 582379)、監査報告書作成有
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	事業者側に蓄積する利用者の個人情報、このサービス内での用途(顧客管理/ログイン設定)でしか利用しないことを利用申請書に記載して確認しております。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	アプリケーション、プラットフォーム
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		1回/年実施。(2018年12月実施、2019年2月対策が必要となった部分の対応を行い再診断実施済)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	・データベースは、ミラーリングにより逐次バックアップ ・1日1回データベースをバックアップサーバにバックアップ実施
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	3世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	無し
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付しない 顧客から依頼があった場合のみ提示
49	サービス利用量	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数(同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	実ユーザ: 2514ライセンス
50		申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	Microsoft Dynamics CRM 2016
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	Microsoft Dynamics CRM は、実績のある業界標準の Microsoft テクノロジーをベースに開発されています。ビジネス ニーズに合わせた柔軟なカスタマイズ、堅牢なセキュリティ制御、他システムとの連携やデータ移行、ユーザー数の拡大やビジネス成長に合わせたシステム拡張など、多様なシステム要件を満たす高いテクノロジー プラットフォームを提供します。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	マイクロソフト株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	無 連携する場合、標準のWebサービスを利用して連携可能
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		無
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	全機器: 5分
			障害時の利用者への通知時間		営業時間内: 2H 営業時間外: 12H
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	Azure時刻同期サービスを利用
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック: 有り パターンファイル更新間隔: 随時
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有 保存期間: 基本3ヶ月
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	WindowsUpdate: 1ヶ月 SQL Serverパッチ: 6ヶ月 但し緊急性がある場合は、随時
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	利用者側のユーザ回線に関しては、ユーザーとこれを提供するプロバイダーが責任を負う。
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	10MB以上
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	・Windows 10 Pro ・Windows 8.1 pro ・Windows 8.1 ・Windows 7
			利用するブラウザの種類	必須	Internet Explorer 11、Chrome、Microsoft Edge
63		ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	監視対象外(責任範囲外のインターネット回線のため)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
66	セキュリティ	ID・パスワードの運用管理	必須○	有
67		ユーザ認証	必須○	AD認証 ID・パスワードによる認証
68		管理者認証	必須○	サーバ管理者権限運用規程及び手順有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	サーバ証明書の発行
70		その他セキュリティ対策	選択	ネットワークアクセス時データの暗号化
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	データセンター建物(Microsoft Azure)
72		所在地	必須	日本(東日本、一部西日本)
73		耐震・免震構造	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。 有り(耐震補強ブレース)
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	数日分のバックアップあり。
75		給電ルート	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
76		非常用電源	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
78		火災感知・報知システム	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
80		誘導雷対策	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
81	空調設備	十分な空調設備	選択	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。 有り。稼働時間、監視範囲、保存期間に関しては、Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
				2要素アクセス制御有り。(生体認証、カードリーダー)
83	メディアの保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
				Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	Microsoft Azureを使用しているが、本項目は非開示のため内容を特定できない。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	住友セメントシステム開発株式会社 スミテムFMソリューションサポートセンター TEL: 03-5733-2413 MAIL: fm_support@sumitem.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月曜日～金曜日(但し、弊社休業日を除く) サポート受付時間: 9:00～12:00、13:00～17:00
		メンテナンス実施時間		毎週水曜日 12:00～13:00 祝日の場合は、木曜日 12:00～13:00
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	・データ無し
		放棄率の実績値(単位: %)		・データ無し
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		・データ無し
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		・データ無し
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・サービス利用/操作方法 ・障害時のトラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	Webサーバ、アプリケーションサーバ、データベースサーバの冗長化 Webサーバ、アプリケーションサーバの負荷分散
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有 FM_for_Dynamics_SaaS利用契約約款
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1カ月前、3カ月前、6カ月前、12カ月前等の単位で記述)
		告知方法		2週間前
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		電子メール及びサービスストップ画面への掲載 有
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	有(定期報告オプション契約を頂いた場合のみ)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。